



一般社団法人 Nagano Tourism Organization

長野県観光機構

プレスリリース

平成 30 年(2018 年)7 月 5 日

「観光地域づくり DMO シンポジウム」を開催します

「観光」に携わる皆様が日頃抱えている課題の解決につながるヒントを持ち帰っていただけるよう、観光地域づくりの先駆者の方々をパネリストに迎え、「DMO で地域の可能性を拓く！」をテーマに熱い議論を展開するシンポジウムを開催します。

<開催概要>

- 1 主催 一般社団法人長野県観光機構
- 2 共催 長野県
- 3 日時 平成 30 年 7 月 27 日(金) 13:00~16:20
- 4 場所 松本市中央公民館(M ウイング文化センター)6階ホール
(住所:松本市中央1丁目18-1 TEL:0263-32-1132)
- 5 テーマ 「DMO で地域の可能性を拓く！」
- 6 登壇者等 日本観光振興協会 副理事長 久保田 穰 様
観光庁観光地域政策企画室長 河田 敦弥 様
(株)バリュークリエイションサービス 代表取締役 佐藤 真一 様
(一社)飛騨・高山観光コンベンション協会 会長 堀 泰則 様
長野県観光部長 熊谷 晃 様
(一社)長野県観光機構 地域 DMO エグゼクティブプロデューサー 平尾 勇
- 7 内容 講演、パネルディスカッション等(詳細は別紙をご覧ください)
- 8 参加対象者 長野県内の観光地域づくりに取り組む、行政、団体、事業者等の関係者
- 9 参加料 無料
- 10 参加申込期限 平成 30 年 7 月 13 日(金)



世界級リゾートへ、
ようこそ。山の信州



長野県 PR キャラクター
「アルクマ」
©長野県アルクマ

一般社団法人長野県観光機構

DMO 形成支援センター

(センター長)内田 孝雄 (担当)岡田 雄一良

(電話) 026-217-7205

(FAX) 026-217-7331

(E-mail) dmo@nagano-tabii.net

会員各位

一般社団法人長野県観光機構
事業統括本部長 内田 孝雄

「観光地域づくり DMO シンポジウム」の開催について(通知)

日頃より当機構の事業推進につきまして格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて「観光地域づくり DMO シンポジウム」を下記のとおり開催いたします。

「DMO で地域の可能性を拓く！」をテーマに観光庁観光地域政策企画室長の河田敦弥様をはじめ、観光地域づくりの先駆者である方々をパネリストに迎え、参加者の皆様に課題解決のためのヒントを持ち帰っていただけるよう、議論を展開していただきます。

夏休みシーズンに入り、ご多忙のところ大変恐縮でございますが、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

- 1 日時 平成30年7月27日(金) 13:00~16:20
- 2 場所 松本市中央公民館(Mウイング文化センター)6階ホール
(住所:松本市中央1丁目18-1 TEL:0263-32-1132)
- 3 内容 別紙「計画書」のとおり
- 4 参加対象者 長野県内の観光地域づくりに取り組む、行政、団体、事業者等の関係者
- 5 参加料 無料
- 6 申込み方法 別添参加申込書を FAX 又はメールによりご送付ください。
(回答先 :FAX:026-217-7331/メールアドレス:dmo@nagano-tabi.net)
- 7 申込み期限 平成30年7月 13日(金)
- 8 その他 会場には専用駐車場がございませんので、周辺の有料駐車場をご利用ください。
(地図をご参照ください。)

一般社団法人長野県観光機構
DMO形成支援センター
担当:岡田雄一良、小林弘幸
〒380-8570 長野市南長野 692-2 長野県庁 2 階
TEL:026-217-7205 FAX:026-217-7331
E-mail:dmo@nagano-tabi.net

一般社団法人長野県観光機構 DMO形成支援センター(担当:岡田) 宛
【ファクシミリ:026(217)7331 /E-mail:dmo@nagano-tabi.net】
【回答期限:平成30年7月13日(金)】

「観光地域づくりDMOシンポジウム」
参加申込書

【団体名等】		
【出欠の有無】	出席	欠席

【参加者】	職名等		氏名
【担当者】	部署名等	職名等	氏名
	電話番号		Email アドレス

シンポジウムの内容の充実を図るため、講師、パネリストの方々にお聞きしたい事項等をお聞かせください。

【ご意見・質問事項】	
------------	--

※Mウイングには専用駐車場がございませんので、周辺の有料駐車場をご利用ください。(地図参照)

観光地域づくりDMOシンポジウム開催計画書

- 1 テーマ DMOで地域の可能性を拓く！
- 2 主催 一般社団法人長野県観光機構
- 3 共催 長野県
- 4 趣旨 「観光」は成長戦略の柱の一つであり地方創生の成否を左右する重要な要因であることから、世界的な視点での魅力発信や観光客の受入体制の整備が急務であります。観光庁が進める日本版DMOの政策によって、県内各地域においてもDMO法人、DMO候補法人が設立され、地域の稼ぐ力を引き出すとともに地域への誇りや愛着を醸成する観光地経営の視点に立った「観光地づくり」への取り組みがなされています。しかしながら、ノウハウ不足、人材不足、財源不足などの様々な課題に直面し、「観光地づくり」への取り組みが順調に進んでいないのが実情です。
そこで、当機構においては、「DMO形成支援センター」を設置し、DMOの形成、人材の育成・確保、ビジネス創造などへの支援により、観光地域づくりを担う広域型の推進体制づくりを進めたいと考えているところであります。
また、課題を共有し、その解決策を議論する場として、「観光地域づくり」を推進するための協議会の設立も必要と考えています。
これらについて、関係の皆様にご存知の通り、講演とパネルディスカッションから、課題解決につながるヒントを持ち帰っていただくため、本シンポジウムを開催します。
- 5 開催日時 平成30年7月27日(金) 13:00～16:20
- 6 会場 松本市中央公民館(Mウイング文化センター)
(住所:松本市中央1丁目18-1/TEL:0263-32-1132)
- 7 次第
 - 12:30 開場
 - 13:00 開会
 - 13:05～13:10 来賓挨拶 観光庁 観光地域政策企画室長 河田 敦弥 様
 - 13:20～13:50 講演1 日本観光振興協会 副理事長 久保田 穰 様
「観光振興におけるDMOの役割」
 - 13:55～14:40 講演2 株式会社バリュー・クリエーション・サービス
代表取締役 佐藤 真一 様
「～実践者が語る～『観光地域づくりにおける戦略と組織の在り方』」
 - 14:45～15:45 パネルディスカッション
【テーマ】 DMOで地域の可能性を拓く！
【コーディネーター】 日本観光振興協会 副理事長 久保田 穰 様
【パネリスト】 観光庁 観光地域政策企画室長 河田 敦弥 様
株式会社バリュー・クリエーション・サービス
代表取締役 佐藤 真一 様
一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会
会長 堀 泰則 様
長野県観光部長 熊谷 晃 様
一般社団法人長野県観光機構
地域DMO推進エグゼクティブ・プロデューサー
平尾 勇
 - 15:45～16:15 質疑応答(参加者が抱えている課題解決方法等の質問に対して、パネリストが回答します。)
 - 16:20 閉会

- 8 参加者 長野県内の観光地域づくりに取り組む、行政、団体、事業者等の関係者
9 参加料 無料
10 講師・パネリストのプロフィール

【講師】

- ◎公益社団法人 日本観光振興協会
副理事長 久保田 穰 様

1979年に日本国有鉄道に入社。2009年に執行役員長野支社長に就任後、信州DCにおいて、長野県の観光による地域活性化を推進する。2011年より株式会社ジェイティービー常務取締役役に就任。2016年に公益社団法人日本観光振興協会 副理事長に就任。2018年より長野県観光振興審議会会長に就任。

- ◎株式会社バリュー・クリエイション・サービス

代表取締役 佐藤 真一 様

1990年リクルート入社。自動車・旅行・結構情報誌の創刊を手掛けた。2006年に創業し、戦略立案や人材の育成、イベントプロデュースなど、全国各地（大分県日田市、鹿児島市、熊本県天草市、広島県と愛媛県にまたがる瀬戸内しまのわ、広島県尾道市、宮城県気仙沼市、秋田県横手市等）地域活性、観光振興の分野で活躍中。

【パネリスト】

- ◎観光庁 観光地域振興課

観光地域政策企画室長・DMO支援室長 河田 敦弥 様

1998年運輸省（現国土交通省）に入省。地域の公共交通の再生・活性化に携わった後、国土交通省の採用・人材開発を担当。観光庁でビジット・ジャパン・キャンペーン事業を実施。2011年より国土交通省にて国が管理する空港の民営化を推進。2018年観光庁観光地域振興課 観光地域政策企画室長・DMO支援室長に就任。

- ◎一般社団法人 飛騨・高山観光コンベンション協会

会長 堀 泰則 様

株式会社ひだホテルプラザ 取締役会長、一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会会長、高山商工会議所副会頭、飛騨高山観光誘致協議会会長、飛騨高山国際誘客協議会会長を兼務。観光業を含め地域活性化に取り組んでいる。

- ◎一般社団法人 長野県観光機構

地域DMO推進エグゼクティブ・プロデューサー 平尾 勇

1979年社団法人社会開発研究所（経済企画庁所管研究所）に入所し、将来的な労働市場の分析等に携わる。1991年八十二銀行に入学し、企画部付で長野経済研究所に出向。長野県および地域の将来像策定に携わる。2009年松本市役所商工観光部長に就任。「松本ヘルスバレー」構築等に携わる。2017年より長野県観光機構の地域DMO推進エグゼクティブ・プロデューサーに就任。